

# ふらべじ

Flower&Vegetable

Vol.2 1996.  
11.30  
みのりの号

発行 北海道立花・野菜技術センター 滝川市東滝川735 TEL (0125) 28-2800 FAX (0125) 28-2299



鈴の音が聞こえますか？

サンダーソニア

*Sandersonia aurantiaca*

南アフリカの乾燥地帯が原産のユリ科の花です。

北海道でも夏から秋にかけて切花用に栽培されています。1851年に入植者ジョン・サンダーソンによって発見されたのでこの名前がつけました。花は独特の形をしています。本当にかわいらしい、見ていると思わず顔がほころんでしまうような姿です。これを英国人はチャイニーズ・ランタン（中国の提灯）と表現しました。

花は初夏に咲きますが、自生地 of 南半球ではそれが年末にあたるので、クリスマス・ベルという名前ももっています。もうすぐクリスマス。こんなかわいい鈴が部屋に一輪あったら、暖かい気持ちになれそうです。

## 輝く秋空の下、 花・野菜技術センター開設記念式が 開催される



### 来場者 2000 人！ 大盛況だった公開デー

「畜試と合同だから頼ればいい」と気楽に実行委員を引き受けました。出し物は各科のコーナー、キャベツの機械収穫実演の他、「切花品評会」、「種苗展示」併催もあって盛りだくさんです。公開デー数日前から各科の動きが活発になり、当日はどの会場も見事な出来映えでした。開場と同時に300人以上の見学者が訪れ、駐車場はパニック状態、シャトルバスも超満員、圃場も行列とのこと。一時は混乱しましたが、昼頃から客足も安定し、最終的には2000人という大盛況でした。今回の成功はみんなのチームワークのたまものと心より感謝しています。次回は「花・野菜技術センターここにあり」というインパクトのあるアイデアを若い人に期待します。 (実行委員 鎌田賢一)

好天に恵まれた8月30日、当センターおよび滝川市内のホテルを会場にして200名を超える関係者の出席をいただき、開設記念式を開催いたしました。

最初に、研究庁舎玄関前で柴野北海道農政部長、佐藤道議会農政委員長、藤野北海道農業協同組合中央会会長をはじめ、関係者8名によるテープカットを行い、その後、バス5台に分乗し新設された研究庁舎、付属施設、圃場などを見ていただきました。

市内のホテルに会場を移した記念式典では、堀達也北海道知事から「花・野菜に関しては栽培技術の向上、多様化する消費者ニーズなどに的確に対応していくことが重要である。試験研究部門と、その成果の普及や技術者養成を担う普及指導部門を一体化し、総合的な機能を果たす当センターの役割は大きい」と式辞がありました。また来賓の方々からもお祝いと激励のあいさつがあり、場長からは「期待に応え、その機能を十分発揮していく」と決意を明らかにして、記念式を終了しました。

今後は皆様のご期待にそえるよう職員一同努力して参ります。 (総務課長 山脇一夫)



### 男性は高級志向？－花に関するアンケート調査結果－

花き第一、二科では公開デーに来られた方にアンケートをお願いしました。女性92人、男性55人の回答をいただきました。結果の一部をご紹介します。

#### ☆好きな花ベスト3

女性 1位	バラ (36%)	男性 1位	バラ (17%)
2位	ユリ (22%)	2位	ユリ (17%)
3位	カーネーション (17%)	3位	カーネーション (15%)

#### ☆自分のために買う花は1本いくらなら気軽に買えますか？

女性 100～150円 (28%)	男性 200～300円 (31%)
300円以上 (21%)	300円以上 (24%)
200～300円 (20%)	100～150円 (22%)

#### ☆花屋さんで花を買ったことがありますか？回数と1回に使った金額を教えてください。

##### 回数

女性 年10回以上 (33%)	男性 年10回以上 (24%)
年1～2回 (23%)	年1～2回 (24%)
年3～4回 (22%)	年3～4回 (18%)

##### 金額

女性 2000～3000円 (27%)	男性 3000～5000円 (25%)
3000～5000円 (16%)	2000～3000円 (24%)
5000円以上 (16%)	1000～2000円 (16%)

どうやら男性の方が花にお金をかけているようです。どんな用途に使っているかも聞けばよかった。



# 花・野菜技術センターではこんな面々が働いています



場長  
米田 裕紀  
一見、芸術家風スポーツマン



総務部長  
樋口 義尋  
ソフトな語りで交通安全



研究部長  
宮浦 邦晃  
英語ペラペラペラペラ



## 総務課 一畜試と兼務で奮闘中！

河部和雄

岡部智之

斎藤健太 佐藤勝宏 坂井隆寿 朝倉昭夫 高橋勝  
(管財係長)(会計係長)

田代直子 門木拓実 高松誠治 山田善久  
(総務係長)

大野由加里 木原明子 山脇一夫 狩野弘嗣 井上顕伸  
(課長)

## 研修担当— 21世紀を育てる4人の夢案内人

松浦雅純 小林敏雄 山本雅彦 後藤孝幸  
(嘱託講師) (嘱託講師) (主査)



## 管理科 一畑の中の七人の侍

山田孝幸 及川忠 土田操 寺口佳孝  
早坂敏昭 住吉正次 梶山幸道  
(科長)



## 平成9年度北海道花き・野菜技術研修の概要固まる

花・野菜技術センターでは道内の中核的農業者や市町村、JA等の技術者、改良普及員の技術のレベルアップを目標に、来年4月から研修を開始します。

### ◎研修内容

#### 専門技術研修

当センターの研究科に一定期間配置し、各自の研修課題に応じて個人指導や研究活動を補助することによって、高度な専門技術を習得します。

#### 総合技術研修

各コースについてカリキュラムに従った講義や実習に加えて課題研究や演習、実験により基礎から実践まで一貫した総合技術を習得します。

#### ◇花き栽培コースⅠ期・Ⅱ期、野菜栽培コースⅠ期・Ⅱ期

講義や実習の他に、市場や産地の見学を取り入れた総合的な学習によって花・野菜栽培の諸技術を習得します。

#### ◇花・野菜分析培養コース

講義によって花・野菜両方の学習をするとともに土壌分析、病害虫診断、組織培養のうちいずれかを専攻して、実験・実習により各種分析や培養の実践技術を習得します。

### ◎研修の期間と募集人数

研修名	コース	研修期間	募集人数
専門技術研修	花Ⅰ・Ⅱ 野菜Ⅰ・Ⅱ	3カ月間から1年間程度の範囲で研修課題に応じて必要な期間を定めます。	4コースあわせて 年間10名程度
総合技術研修	花き栽培Ⅰ期	平成9年4月14日～6月20日(10週間)	10名
	野菜栽培Ⅰ期	平成9年4月14日～6月20日(10週間)	10名
	花き栽培Ⅱ期	平成9年7月7日～9月12日(10週間)	10名
	野菜栽培Ⅱ期	平成9年7月7日～9月12日(10週間)	10名
	花・野菜分析培養	平成9年10月6日～12月5日(9週間)	10名

### その他

迅速な対応を必要とする新技術や地域課題に対応する課題解決研修、フラワーアレンジメントなどの市民スクールも実施する予定です。

### ◎研修寮

当センターでは研修生のために宿泊施設として個室30室の研修寮を用意しています。

### ◎申し込み方法

平成9年1月上旬から受付を始めます。募集要領が出来次第、研修生願書とともに各支庁および農業改良普及センターに用意します。

### ◎お問い合わせ先

花・野菜技術センター 総務課 研修担当

Tel.0125-28-2800 内線209

収穫の秋!!

## どでかぼちゃ大会てんまつ記

9月22日に滝川市の丸加高原で行われた「おおいでっかいどうカボチャ大会」に我が花・野菜技術センターと滝川畜試からも13名が参加しました。

春先から公宅用地の一部を耕して、堆肥を施し、マルチをしたり整枝をしたりとみんなそれぞれ工夫をこらし、巨大カボチャを作ろうとがんばりました。中には雑草畑になって、収穫の時カボチャを探すのに 苦労した人もいたようですが。そんなこんなで夏が過ぎ秋がきて参加者総出で決戦の場であり出したので



優勝は芦別の重量は348kg、近くで見るとさすがにすごい迫力でした。我々の中では、畜試の米道主任研究員の79Kg(36位)が最高で、まあ惜敗というところでしょう!! また、病虫科のカボチャが見事ユーモア賞を獲得するという快挙を成し遂げました。これを励みに来年は皆さん参加してみたいかがでしょうか。

(野菜第一科 平井 剛)

## 編集後記

街で職場で交通安全が声高に叫ばれています。その大切さは言わずもがな、でも少々しらくも。それで杉田聡著「クルマが優しくなるために」(ちくま新書)を読みました。便利さと引き替えに平和に生きる権利を奪い、弱者である子供や高齢者を苦しめているこのクルマ社会の異常さを再認識させられました。大人全員の責任です。滝川での初めての冬。早すぎる根雪に戸惑っています。(アラレ)

ほとんどお手伝いできないのですが、ふらべじは順調に発刊されています。「みんな、ごめん」第3号も迷惑をおかけしますが「諸兄妹よろしく願います」と心の中で思っています。(K)

何だかんだと言いながらはや2号が出来上がりました。これまで楽をしていたツケが回ってきた。第3号の表紙、どうしようか頭の痛い日々です。アラレ編集長、助けて下さい。(Y)

今回の担当は職員紹介の顔写真。押入の奥に眠っていた愛機ミノルタα-8700iを久しぶりに手に。このボディの感触はなかなかいいですね。次号も引き続き顔写真を掲載します。特にH井君の満面の笑みに注目!!(H、H)

今回、ふらべじの編集に初参加させてもらいました。何もできなかったのですが、編集委員の方皆さん素晴らしい方で大変嬉しく思う今日この頃です。また次回皆さんに会えることを楽しみにしております。(T)